

## 総合診療内科

### 1. スタッフ（平成26年4月1日現在）

（ローテート中および派遣中を除く）

科 長（教 授）	杉山幸比古
副 科 長（教 授）	苅尾 七臣
	松村 正巳
	（准教授）森澤 雄司
外来医長（講 師）	清水 敦
病棟医長（准教授）	見坂 恒明
医 員（教 授）	梶井 英治
	奥田 浩
	石川 鎮清
	亀崎 豊実
	（准教授）三瀬 順一
	（講 師）牛尾 純
	（助 教）神田 健史
	竹島 太郎
	田中裕一郎
	石川由紀子
	中村 剛史
	森田 喜紀
病院助教	西村 芳興
	上田 祐樹
	山本 祐
	大西 翼
シニアレジデント	6名

### 2. 診療科の特徴

総合診療内科は、自治医科大学附属病院の中で、多くの科の医師と関わりのある診療部門であり、幅広い診療活動を行っている。

病棟は、現在16床を固定病床として持ち、他の臓器別内科と一緒に診療を行う共通床と合わせ最大30床を管理している。入院患者は約80%が緊急入院である。急性疾患で入院が必要な患者、外来通院のみでは診断が困難な患者、マルチプルプロブレムの患者、終末期の患者など幅広い疾病に対応している。

自治医科大学附属病院では、午前中の新患受付時間帯に、病院外来受付で、予約および紹介状のない外来患者の診療科案内を総合診療内科の医師が担当し、患者の様々な訴えを聴いて大学病院の多岐にわたる専門科への案内を行っている。不適切な診療科への受診が減り、患者側、医療側の双方にとって有用である。1日平均約20名の診療科案内を行っている。内科系の新患患者のうち総合診療内科は約30%を診察している。最近は診断困難症例の紹介例も増えてきており、紹介率は昨年の35.5%

から本年42.6%まで増加した。疾患としては、コモンディジーズを中心に、診断のついていない患者やマルチプロブレムの患者などさまざまな疾患に対応している。

救急関連では、午後の急患当番として救急車以外で来院される午後の救急患者の振分も担当している。

総合診療内科では、医学教育においても重要な役割を担っている。BSLでは基本的な問診、身体診察を重視し、幅広い知識に基づいた臨床推論と根拠に基づいた効率的な検査を行なって診断をつけることを目標の一つとしている。外来診察実習として1日1～2人、週に4日で合計7人/週となるが、1人の初診患者を1人の学生が指導医のもとで問診、身体診察まで行い、その後指導医が診察を引継ぐ形で行っている。病棟実習では、主治医チームの一員として、朝の入院カンファレンスやチーム内カンファレンスに参加し、担当患者のプレゼンテーションも行っている。指導医の指導のもとで、問診、身体所見、鑑別診断、治療方針にいたる診療のプロセスを学生自ら考える実習を行っており、学習への動機づけの向上に寄与し、学生にも好評である。診療の質の向上のために、外来では、毎日16時～17時でその日の初診患者について診療の振り返りとしてレビューを行っている。また、入院では、毎朝8時から全例の入院患者レビューを、毎週金曜日8時からスタッフ全員参加のチャートラウンドを行っている。これらにより診療内容の共有と質の向上を図っている。また、適宜エビデンスを文献レベルで調べEBMの実践を行っている。

#### ・認定施設

日本プライマリ・ケア学会認定研修施設

日本プライマリ・ケア学会認定家庭医療後期研修プログラム認定施設

#### ・認定医

日本内科学会指導医	松村 正巳
日本内科学会総合内科専門医	見坂 恒明 他4名
日本内科学会認定内科医	梶井 英治 他13名
日本プライマリ・ケア学会家庭医療専門医	見坂 恒明
日本プライマリ・ケア学会認定医	梶井 英治 他10名
日本プライマリ・ケア学会指導医	見坂 恒明 他3名
日本医師会認定産業医	三瀬 順一 他9名
日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医	梶井 英治 他1名
日本人類遺伝学会指導医	梶井 英治
日本血液学会専門医	梶井 英治
日本血液学会指導医	梶井 英治
日本輸血学会認定医	梶井 英治

日本リウマチ学会専門医	松村 正巳
日本循環器学会循環器専門医	見坂 恒明 他2名
日本消化器病学会消化器病専門医	山本 祐 他1名
日本腎臓学会腎臓専門医	松村 正巳
日本透析医学会専門医	松村 正巳
日本感染症学会感染症専門医	見坂 恒明
日本科学療法学会抗菌化学療法認定医	見坂 恒明 他3名
日本高血圧学会指導医	石川 鎮清
日本医学放射線学会放射線専門医	渡部 伊織
日本放射線腫瘍学会放射線治療専門医	渡部 伊織
日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医	牛尾 純
日本超音波医学会超音波専門医	西村 芳興

### 3. 診療実績・クリニカルインディケータ

#### 1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

新来患者数	1,988人
再来患者数	11,971人
紹介率	42.6%

#### 2) 入院患者数(病名別)

平成25年入院患者疾患内訳

感染症	183	50.2%
悪性腫瘍	34	9.3%
循環器系疾患	24	6.5%
リウマチ・膠原病関連疾患	18	4.9%
糖尿病・内分泌系疾患	17	4.6%
消化器系疾患	16	4.4%
神経系疾患	10	2.7%
血液系疾患	5	1.3%
整形外科系疾患	5	1.3%
呼吸器系疾患	4	1.1%
腎泌尿器系	3	0.8%
その他	45	12.3%
合計	364人	

平成25年度入院患者感染症内訳

肺炎・下気道感染	70	38.3%
尿路感染	19	10.3%
筋・骨格系感染	16	8.7%
腸管感染	12	6.6%
皮膚軟部組織感染	11	6.0%
感染性心内膜炎	8	4.4%
肝胆道系感染	8	4.4%
敗血症(フォーカス不明)	6	3.2%
髄膜炎・脳炎	6	3.2%
その他	27	14.8%
合計	183人	

平成25年度入院患者悪性腫瘍内訳

悪性リンパ腫	14
原発不明癌/腹膜癌	6
消化器癌	5
肺癌	3
腎泌尿器癌	3
婦人科癌	3
合計	34人

平成25年度入院患者その他疾患内訳

原因不明発熱	5
脱水	5
菊池病	4
神経性食思不振症	4
横紋筋融解症	3
薬疹・皮膚炎	3
薬物中毒	2
アナフィラキシー	2
めまい	2
薬剤熱	2
その他	13
合計	45人

#### 3) 手術症例病名別件数

記載事項なし。

#### 4) 治療成績

記載事項なし。

#### 5) 合併症例

記載事項なし。

#### 6) 死亡症例・死因・剖検数・剖検率

総合診療内科では、急性期の比較的軽症患者も入院されるが、担癌患者での原発単の検索などの入院も多く、また、それ以外でもマルチプロブレムの重症患者への対応も多い。総合診療内科での死亡退院症例は21人(入院の5.8%)で、原因として感染症関連12人、悪性腫瘍が2人、循環器疾患が2人などであった。また、剖検数は2例であった。

#### 7) 主な検査・処置・治療件数

記載事項なし。

#### 8) カンファランス

##### (1) 診療科内

月：地域医療学センター合同会議、プロジェクトミーティング、教授回診、病棟カンファレンス、外来レビューカンファレンス  
火：病棟カンファレンス、外来レビューカンファレンス

水：病棟カンファレンス、外来レビューカンファレンス、勉強会

木：病棟カンファレンス、外来レビューカンファレンス、身体診療カンファレンス

金：チャートラウンド、レジデント勉強会、外来レビューカンファレンス

#### (2) 他科との合同カンファレンス

月・火・木：モーニングカンファレンス

金：放射線カンファレンス

#### (3) その他

グラウンドカンファレンス：院内各科、院外医師会関係者が参加

### 4. 事業計画・来年の目標等

2009年度より総合診療部が大学内でも独立した部門となった。また2013年10月より総合診療内科となり、内科の一診療科となった。

総合診療内科の診療範囲は幅広く、患者の病態も複雑で診断困難例が多い。また、院内各専門科や院外の地域医療機関との連携を進め、適切な治療や退院後のケアまで円滑に進めることが出来るよう配慮している。総合診療内科となり、今後ますます他科との密な連携が必要である。またコーディネーターとしての役割を今後も重視し、その指標として入院・外来患者における紹介患者や逆紹介患者数の増加を目指し、地域住民および他の医療機関から信頼される診療を提供できるよう努め、病院全体ひいては地域の医療全体の質の向上につながるよう努力している。

### 5. 過去実績

東日本大震災に伴い自治医科大学附属病院からも災害派遣チームが編成された。総合診療部所属の医師は率先してチームに加わり岩手県大船渡や釜石での診療に従事した。